

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業				②事業番号	7626	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 4 年度
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○その他	法令等の名称
⑦実施手法	直営	全部委託	○一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	6	目	2	細目 8
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育部	生涯学習課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市	① 人口	人
② 市内のスポーツ施設	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
2020年度にオープンした「りんくう公園」を契機として、国内外の学校やクラブによる合宿可能なエリア「SENNAN CAMP」としてのプランニングを官学連携により構築する。またスポーツの街だけでなくオートキャンプ、グラマラスキャンプなど様々なキャンプが可能な一大拠点としての「泉南」をプランニングしアイデンティティの明確化及びブランドロゴの策定を検討する。	① 会議等回数	
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
国内外からスポーツを契機とした交流人口の増加、子どもから高齢者まで生涯にわたるスポーツを楽しむ活動の推進。	① 調査研究施設数	施設
	計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
スポーツ大会やイベント、合宿の誘致、スポーツを通じた交流促進等による地域活性化と市内におけるスポーツ振興、スポーツ観光につながる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	人口	人			61,457	60,795		指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	会議等回数				3	4		
活動指標②								
活動指標③								R3年度は、調査対象を市外の同様施設の先進事例などについて調査を行う。
成果指標①	調査研究施設数	施設			9	20		
成果指標②								
成果指標③								事業費などの推移における特殊要因などの説明
事業費	投入人員	人			0.39	0.30		
	正職員	人			0.00	0.02		
	任期付職員	人			0.00	0.00		
	臨時職員	人						
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	0	0	2,976	2,350		地方創生交付金活用事業を活用。R3年度事業数の増による事業費増。
	直接事業費	千円			385	13,200		
	総事業費	千円	0	0	3,361	15,550		
財源内訳	国庫支出金	千円			0	6,600		
	府支出金	千円			0	0		
	受益者負担金	千円			0	0		
	その他特定財源	千円			1,000	13,200		
	一般財源	千円	0	0	2,361	△ 4,250		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	泉南市域に関西国際空港を含むにも関わらず、観光客は少なく交流人口の増加や地域の活性化が図れていなかったため、2020年度に「泉南りんくう公園」がオープンしたことを契機として実施する。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	ラグビーワールドカップ(RWC)2019を皮切りに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の関西ワールドマスターズゲームと、日本では3年連続で世界的なスポーツイベントが開催されスポーツを通じたインバウンド誘致が注目されている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

B

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	スポーツ推進、地域活性化につながる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	外部調査員と既存施設を調査研究することにより、施設の強みや弱みを把握することが可能
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	施設は限定される。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	観光分野との連携による地域活性化につながる。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費十人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	大学との共同調査研究でありコストは低くなっている。
---	----------------	---------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	スポーツコミッションの設立など官民連携での取組が必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—